

STOPWATCH Vol. 36

1 Energetic power 元気力

1. 社員一人ひとりの元気力（個人エネルギー）
2. 会社・現場・店舗における元気力（職場環境演出）
3. 業績を伸ばす元気力（売上・業績向上）
4. ライバルに勝つ元気力（競合優位性）
5. お客様に伝わる元気力（接客マインド）
6. 課題解決させようとする元気力（課題解決力）
7. 成長しようという元気力（向上心）



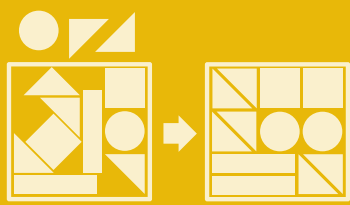
2 Bird view バードビュー

1. 社員としてのBV
2. 業界人としてのBV
3. 目標に対するBV
4. 社会に対するBV
5. 商品に対するBV
6. ビジネスに対するBV
7. 人間としてのBV



3 Optimization of a company and an enterprise 企業と事業の最適化

1. 事業の最適化（採算性の低い事業に対する見直し）
2. 戦略の最適化（営業手法、企画提案手法）
3. ブランドの最適化（効果的なPR施策）
4. 業務の最適化（時間効率、業務分担）
5. 社内の最適化（社内インフラ、設備投資）
6. 人材の最適化（社員教育、人事計画）
7. 経営の最適化（財務と資金計画）



4 Perfect image パーフェクトイメージ

1. 目標を達成するという成功イメージ
2. 思い描いた作品の成功イメージ
3. 理想的な会社のイメージ（君の役割）
4. 勝利するというイメージ（勝てる企画・勝てる営業）
5. 自分自身の成長イメージ（1年でどんな成長を遂げるか）



SEVEN CORE
VALUE
for ACHIEVE

“Fun time”

心躍るひとときを創るための7つの目標

スタッフアルファコミュニケーションは、
「人が主役の非日常」を創ります。

5 Level of awareness 意識レベル

1. 時間に対する意識レベル（作業時間を意識しているか）
2. クオリティに対する意識レベル（完成度を意識しているか）
3. 仲間意識に対する意識レベル（チームワークを意識しているか）
4. 責任に対する意識レベル（責任感を意識しているか）
5. 社会に対する意識レベル（コンプライアンスを意識しているか）



6 A feeling of speed 速度感

1. 意思決定の速度感
2. レスポンスという速度感
3. 時間厳守という速度感
4. 時間短縮という速度感
5. 行動開始の速度感
6. 体感的速度感
7. 競争的速度感



7 Professionalism プロフェッショナリズム

1. ビジネスマンとしてのプロ意識
 - ① 社会人としての一流の気遣い・配慮ができる意識
 - ② 顧客を獲得し、その要求に極力応えようと積極的に取り組む意識
2. 接客業としてのプロ意識
 - ① 最高の接客を目指す意識
 - ② 接客水準を組織的に高めようとする意識
 - ③ 自社の接客に商品としての価値・誇りを持つ意識
3. イベントプロデューサー、ディレクター、ネイリストとしてのプロ意識
 - ① 時代の最先端を知ろうとする意識
 - ② 与えられた範囲内で最高の完成度を目指すという意識
 - ③ 正当な利益を確保する中でクライアントを満足させようと取り組む意識



アルファノヒト

A L P H A N O H I T O

毎号、スタッフアルファの「ヒト」にフォーカスしてご紹介する本コーナー。
今回は、大手商業施設での経営幹部を歴任してきた流通業界のプロ
フェッショナルであり、5年前より当社の顧問として会社の成長を支え
てきた毛利裕一に、ロングインタビューを行った。

SAとの関係がスタートしたのは、
松山社長が「高校の後輩」だったから。
―就任されて丸5年となりますが、改めて
顧問になられたきっかけを教えてください
ますか。
ディベロッパー時代、知人の紹介で松山社長
と出会い、実は自分の高校の後輩であること
が発覚。これも何かの縁だと感じ、自分の担当
施設のイベントをスタッフアルファ（以下SA）
にやってもらうことになったのがはじまり
です。以来、ディベロッパーとして多くのイベ
ントを任せていました。その後、65歳で定年
を迎えた際、松山社長より「売上10億円を
超える会社になりたいと思っているが、自分たち
にはまだまだネットワークも含めて足りない
部分があるので、力を貸してほしい。」という
オファーを受けて、顧問になりました。

「井の中の蛙」にならないよう、
ビジネスや業界の知識をつけてほしい。
―流通業界の基礎知識からプロの視点まで
学ぶ「流通毛利塾」や、新聞記事を持ち
寄りディスカッションを行う「毛利ゼミ」
など、社員のスキルアップにつながる研修
を主催されている毛利顧問ですが、これ
らはどういう意図で企画されているの
ですか？
SAは小さな会社ということもあり、社会
人として「井の中の蛙」であることが気にな
った。これから事業を広げていく際に、
色々な人との接点が生まれてくるうえで、
ビジネスや業界に関する会話ができないと
恥をかく。
そこで、少しでも知識をつけてもらいたい
と思い、勉強会やゼミを開催しています。特に、
流通業界に関する研修では、ディベロッパー
としての視点や業界人だからこそ知っている
情報などを共有し、SA内にも「流通のプロ」
を育てられればと思っています。

―最後に、毛利顧問がサラリーマン時代か
ら今まで、ビジネスマンとして大切にしてい
ることがあれば教えてください。
サラリーマン時代の会社の社長に言われた
「常在戦場」という言葉は今も常に意識してい
ます。働いている時はいつも戦場にいるつもり
で、緊張感を持って取り組んでいます。また、
「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という考え
方も大切にしています。偉くなればなるほど
部下に対する思いやりを持ち、部下相手でも
「ありがと」を忘れないなど、当たり前のこ
とが当たり前にできることがすごく重要だ
と思っています。あとは義理人情かな（笑）。
―素敵なお話ありますがどう感じました。
これからもSAのさらなる進化に向けて、
サポートをよろしく願います！

使命は、売上10億円の会社にあること。
―それでは、今後の毛利顧問のSAにおけ
るミッションを教えてください。
ミッションは、「売上10億円達成」。その
ために自分ができることは、長年培った経験
と人脈を提供することしかない。ただ、まだ
まだそれを活かすきれいな形で、もつとつ
と私をうまく使いこなしてほしいなと思っ
ています。
この一年間、つまりコロナ禍を通して、SA
はある意味すごく成長したと感じています。
その要因は、会社として投資を惜しまなかつ
たことだと思います。私の知り合いの企業で
は、とにかく経費などの出費を抑えて経営を
まわしていくところが多かったようですが、
SAはオンラインルームを作ったり、スマート
抽選会システムを開発したり、さらには社内
のフリーアドレス化など、むしろ「攻め」の
姿勢で新しいスタイルを模索した結果、会社
の将来にもものすごく良い影響を与えたと思
います。また、この状況下でも社員にとつてよ
り「良い会社」になるよう、「働き方」や「評価」、
「福利厚生」を見直したり、新卒採用を今年
も実施したりなど、社内のパワーアップにも
積極的に取り組んでいるところが素晴らしい
と思っています。

日々の“Fun time”をお届け！
「アルファノコロ + ～Fun time Diary～」
社員ブログが心機一転、再始動！



TOP



Information



株式会社スタッフアルファコミュニケーション 顧問
SC経営士

毛利 裕一（もうり ゆういち）

Profile

1950年東京都墨田区生まれ。
早稲田大学卒業後、西武百貨店に入社。約35年間、ディベロッパー
業務に従事し営業政策部長を務めたのち、JR東日本都市開発、
錦糸町ステーションビルの経営幹部を歴任。
定年後、2016年にスタッフアルファの顧問に就任。
SC経営士。趣味はサッカーと海外旅行。

社内環境 整備



ワーキングスペース リニューアル

6月に当社オフィスのワーキングスペースをリニューアルした。「美味しいコーヒーをいれるお洒落なカフェ」をコンセプトに、ウッディテイストのデスクとモダンなチェアを組み合わせ、流行りのスタンディングデスクも取り入れることで、スタイリッシュな環境に一新。そしてフリーアドレス化も実現し、部署を超えたコミュニケーションも増加。業務効率の向上だけでなく、スタッフアルファらしい“元気力”の溢れる空間に変貌を遂げた。

緊急事態だからこそ 活かされる運営ノウハウ。 ワクチン接種会場の 運営業務

日本でも本格的にスタートした新型コロナワクチン接種。当社では、6月末より行政や職域などワクチン接種会場の運営業務を受託している。連日の現場は大人数のスタッフが同時に動くこともあり、難易度は決して低くない業務ではあるが、これまでの経験で培った「運営力」を存分に発揮し、さらに受注を拡大させていく予定だ。

新たな空間演出で進化！ BtoB オンラインイベント

オンライン配信事業を展開して約1年。当社のオンラインイベント内での空間演出は更なる進化を遂げた。それは、「バーチャルステージシステム」の導入である。実際のステージとほぼ同等のバーチャル空間を再現し、臨場感のある映像配信を実現。また、ステージ上にはビデオ

通話ソフトからの映像、スライド資料、会社ロゴなどを表示する5点の大画面を投影。これまで以上に、顧客からのご要望に応じた多様な表彰式・シンポジウムなどの演習・配信を行う。今後も進化する空間演出に注目である。

Virtual



キンダーブラッツ9号店 OPEN

子供向け室内遊び場の運営協力を手掛けるキッズプレイスオペレーション事業。これまでは関東を中心に出店のサポートをしてきたが、2021年3月、宮城県利府の大型商業施設内に新店がオープンした。この社会情勢を鑑みて、ソーシャルディスタンスを保ちながら一人遊びでも十分に楽しめる遊具を中心に選定。お客様に安心安全なサービスを提供している。今回の東北出店は我々が運営協力をする「ブランド店舗」の拡大へ大きな足掛かりとなり、“日本一の遊び場”という大きな目標にまた一歩近づいた。

東北 初出店！



記事掲載



代表松山が熱弁！日経トップリーダー会報誌に掲載

日経トップリーダー会報誌「Monthly」2021年3月号において、当社のオンライン事業に関する特集記事が掲載された。企業理念に込められた代表松山の想いやコロナ禍で奮闘する経営者に向けたメッセージと共に、現在のオンライン事業の取り組みや開発中の中小企業向け動画

サービスなど、コミュニケーションサービスプロバイダとしての新たな事業展開に関して紹介していただいた。コロナ禍で一時は窮地に陥った当社の進化について、代表松山が語った内容とは・・・!? 当社にご来社の際は是非ご覧いただきたい。

新たな出会いもつなぎたい TSUNAGIYA始動！

当社のコミュニケーションサービス事業の一環として、スマホ動画編集サービス「TSUNAGIYA (つなぎや)」を新たにリリースする。こちらは主に企業様の事業紹介の映像を作成するサービスだ。スマホで撮影した動画をお送りいただくだけで、動画の編集はもちろん、ナレーションや

BGMなどの演出を加えたプロ仕様の作品に仕上げて提供する。早さ、安さ、手軽さを揃えたこのサービスは、事業紹介だけでなく、PR映像・商品説明・採用活動や説明会など、様々な分野における活用が期待できる。是非お気軽にご利用いただきたい。

若手社員による2大プロジェクト DX推進プロジェクト & eスポーツサークル発足

今期、当社では2つのプロジェクトが始動。1つはDXに関わる社内インフラや新商品・新事業の開発を行う「DX推進プロジェクト」。そしてもう1つは「社内eスポーツサークル」の発足だ。実はこの企画、どちらも「社内課題解決コンテスト」

の最優秀賞のアイデアで、いずれも若手社員からの発案によるものである。デジタルネイティブである若手社員たちが創る未来のスタッフアルファにご注目いただきたい。

新入社員



新卒ルーキーズ、そのキャラクターとは

今年も新卒社員として、金子紅葉と平野歩の2名が入社、事業推進室へ配属された。金子はバイリンガルで音楽も嗜むというが、長机を運べないほど力仕事が大の苦手という

一面も。平野は控えめな性格と思いきや、演劇を磨いた過去もあるという。社内だけでなく現場でも切磋琢磨する原石は、これから更なる輝きを放ってくれるに違いない。

才 気 炸 弾 発

▽コロナの感染拡大が止まらない。度重なる緊急事態宣言もすでにほとんどの効力を感じないし、国民にもその意識は極めて希薄のようである。最初の緊急事態宣言と比較するとその捉え方が大きく違うのは歴然としている。▽最初の宣言時には早々に有名人の死亡記事に恐怖心も相まって私もステイホームで近所の河川敷を自転車散歩する毎日であったが、ありがたいことに今日現在、従業員に

陽性者は出ていないこともあって何か中途半端に他人事である。▽一方、ワクチン接種会場の運営案件が続いている。コロナに現場を奪われた我々が皮肉にもコロナによって現場を得ている。納得しているわけではないがこれはこれでありがたい受注、去年にはなかった案件である。▽感染を抑えることが最重要課題であるが一方では感染拡大時にも何かしらビジネスを継続しなければいけ

ない状況。事実、リモート配信など今までほとんどなかったジャンルが我々のカテゴリとして発生している。ある種の事業領域の拡大になっている。▽リアルイベントは中止状態だが収束後に反動で販促市場が活気付くとの声をよく聞く。が、そこはまだ先の話、今が企業の進化にとってのターニングポイントになることだけは確かなようである。

STOPWATCH
NEWS & TOPICS
スタッフアルファコミュニケーションの近況を皆様にご紹介いたします。
気になる情報を見つけたらすぐにお問い合わせを。